

# 年頭所感

## ～挑戦、シン化。そして未来へ～

令和5年元旦 いわき商工会議所 会頭 小野栄重

令和5年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

ワクチン接種の進展や治療薬の開発、感染防止対策や医療体制面での知見の蓄積等を背景に、新型コロナ感染拡大に伴う行動制限が緩和され、日常生活や経済活動回復への兆しが見え始めて参りました。ポストコロナ新時代への期待が膨らむなか、輝かしい新年を迎えることが出来ましたことを皆さまと一緒に心から喜びたいと思います。

昨年を振り返りますと、新型コロナ感染症の長期化に加え、ロシアのウクライナ侵攻、原材料費や販管費の高騰、半導体や建築材などの供給不足、地震の影響を受けた電力需給ひっ迫、安倍元首相の銃撃事件など、まさに激動の一年、波乱の一年でありました。

一方、いわき花火大会、いわき七夕まつり、いわきおどり、なこそ鮫川花火大会など、いわきを代表する夏まつりが関係者の熱意と努力のもと3年ぶりに開催されました。また、いわきFCが見事J3リーグ優勝とJ2昇格を果たすなど、久しぶりにワクワク感が高まり、市民に笑顔と地域に賑わいが戻り、活気づいた年でもありました。

さて、昨年11月、3年に1度の役員・議員改選期を迎えるにあたり、「挑戦、シン化。そして未来へ」を今期のテーマに掲げました。大きな環境変化に適応し、乗り越えるためには「変化への挑戦」が不可欠です。「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き延びるわけでもない。唯一生き残るのは変化できるものである」。ダーウィンの言葉です。本テーマは、GXやDXを駆使しながら、ポストコロナ新時代の幕開けに積極果敢に挑戦し、自らもシン化することにより、いわきを少しでも良くして、次の世代へ襷を繋いで行くとの思いを込めたものです。

商工会議所のミッションは、行政、地域の関係機関、全国各地の商工会議所、市内事業所とのネットワークを生かしながら、事業者のチャレンジ精神を後押しすることにより、その持続力、革新力、成長力を底上げすることにあります。中小企業の皆さまには、強みである柔軟性や機動力を発揮しながら、「経営のシン化(新化、進化、深化、伸化)」に挑戦して頂きたいし、商工会議所は、あらゆる政策を最大限に活用しながら、その先導役を担って参ります。

一方、地域の繁栄なくして、企業の繁栄はあり得ません。自らが仕掛け人となって、将来世代に負の遺産を残さないような地域づくりを推進します。20年前に世界2位を誇った国民一人当たりのGDPは、今や27位にまで後退しています。いわきの地から、日本の国力を取り戻せるよう、地域資源や製品の付加価値を高め、好循環を生み出すような「稼ぐ地域づくり」、いわきに住み続けたいと思える「経済的にも文化的にも豊かな地域づくり」に挑戦して参ります。

こうした考えのもと、本年は、次の3本の柱の事業活動に取り組んで参ります。

第一の柱は、伴走型で事業者の挑戦とシン化を支援する「中小企業振興活動」です。商工会議所にとって、最も重要な事業領域であり、会員訪問を通じた現況把握と情報提供やアドバイス、小規模事業者のデジタル化、新分野への挑戦となる業種転換や販路開拓支援、異業種交流を兼ねた経営者の育成、現場の人財の底上げ、とくに企業でカーボンフリーを担う人財の育成に力を入れて参ります。

第二の柱は、都市間競争に打ち勝つための「産業と地域の振興活動」です。「いわきFC」の集客力をしっかりと経済効果につなげるとともに、いわきアカデミアの再構築、ふるさと誘致センターの運営強化、いわき駅周辺や湯本駅前の再開発プロジェクトを推進するなど、これまでの取組みをシン化させて行きます。また、中長期的な視点からエネルギー産業の振興、水素やバッテリーを活用した脱炭素社会の構築、大学シーズとのマッチングによる新ビジネスの創出に取り組めます。

第三の柱は、これら第一、第二の柱を支える「政策提言、組織強化活動」です。事業活動のバックボーンとなる基礎データの整備、多様な媒体を駆使した情報発信、行政に対する提言・要望活動、会員サービス強化を推進します。また、政府に対しては、日商を通じて、日本の国力を取り戻せるよう、10年後の将来ビジョンと、そのために必要な戦略の策定を働き掛けて参ります。

以上のとおり、令和5年は、「挑戦、シン化。そして未来へ」をテーマに掲げ、行政と連携を図りながら、引き続き、「世界に誇れる復興モデル都市・いわき」を目指して参ります。

本年が皆さま方にとりまして「挑戦とシン化の年」となりますことを祈念いたしますとともに、引き続き、商工会議所事業活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。